

# AY2018年度冬期AP言語イマージョンプログラム・シラバス

## AY2018 Winter Korean Language Immersion Program

**科目名** : 海外集中言語学習(言語教育科目)/ Intensive Korean Language Learning Overseas Program  
**言語** : 韓国語/ Korean Language  
**派遣校** : 高麗大学校安岩キャンパス(本校, ソウル)/ Korea University Anam Campus(Seoul)  
**機関** : 韓国語センター/ Korean Language Center

<b>応募資格</b> <b>Recommended Qualifications</b>	<p>本プログラムの趣旨・目的を理解し、韓国現地での学習に意欲を持って真摯に取り組む姿勢、熱心さをもつAPUの学部生。原則的にAPUの「韓国語Ⅰ」以上を履修済みの学生、またはこれと同等の学習歴、資格を有する学生であること。</p> <p>* APUで韓国語を履修したことがなく、APUの「韓国語Ⅰ」レベル以上の学習歴、資格を有する志願者に関しては所定のテストを行う。</p> <p>In principle, all applicants are required to have a minimum of 1 semester Korean learning experience in the curriculum of APU. Applicants who has equal ability compare with students who completed APU Korean 1 course are expected to be interviewed to register for this program.</p>
<b>期間</b> <b>Schedules</b>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><b>2018年2月17日～2018年3月21日(約5週間)</b></p> <p>出国日/departure: 2月17日          入学式/entrance ceremony: 2月18日          修了式/completion ceremony: 3月19日          帰国日/the date of return: 3月21日</p>
<b>① 授業のねらい</b>	<p>APUの「韓国語」科目を補充し、韓国での集中的訓練を施すことによって、言語運営を強化する。韓国の言語や文化、社会に対する知的好奇心を高め、また同時に学部専攻分野での学習・研究との接点を深く考える機会とする。韓国の学生・市民との交流を通じて、異文化を理解・尊重し、相互理解に努める精神を涵養する。</p>
<b>② 到達目標</b>	<p>APUの「韓国語」科目で学習した韓国語の文法、語彙、慣用表現を再確認し、各レベルで必要とされる言語学習の諸事項を新たに身につけることによって韓国語の言語運営がさらに上達する。実際の諸場面で韓国語を用いたコミュニケーションに挑み、韓国語発話に対する心理的抵抗を克服し、また語用面でも韓国語の言語運営に対する理解が深まる。各種アクティビティ、学生交流会、特殊講義などを通じて韓国語、韓国の文化、社会に対する理解が深まり、引き続き言語学習や学部専攻における学部生としての「学び」に真摯に取り組むことができる。</p> <p>このプログラムを修了した参加者全員に対して「未来の韓国専門家トレーニング・コース修了証」が授与されます(認証機関:高麗大学)。</p> <p>Korea university offers a special certificate of “Future Korean Expert Training Course” for all applicants who completed the course.</p>

	<p>&lt;入門クラス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 韓国語の子音と母音を正確に理解・再確認する。</li> <li>- 初級学習者が日常生活を営むうえで必要な基礎的な韓国語を学習する。</li> <li>- 韓国語の基本的な文章構造を習い、日常生活と関わるテーマについて簡単な会話ができる。</li> </ul> <p>&lt;初級クラス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 韓国語の基本的な文章構造を理解し、活用できる。</li> <li>- 日常生活に必要な語彙と表現を身につけ、日常的・個人的テーマで韓国人と意思疎通が可能になる。</li> </ul> <p>&lt;中級クラス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 韓国語の基本的な文章構造を理解し、活用できる。</li> <li>- 日常生活に必要な語彙と表現を身につけ、日常的・個人的テーマで韓国人と意思疎通が可能になる。</li> </ul> <p><b>※参加者のレベルによって「中級②」、「上級」クラスを開講する場合がある。</b></p>
<p>③ 授業方法</p>	<p>授業はすべて韓国語で行う。高麗大学韓国語センターのテキストを使用し、週 2～3 課ずつ学ぶ。学んだ文型と語彙に関する簡単なテストを必要に応じて随時行う。また、決められたテーマにしたがって各自韓国語によるスピーチを行う。授業の構成は、1～2限目は、会話中心の表現に重点をおいた授業を展開し、3～4限目には、言語機能の訓練(聞き取り、会話、読解、作文)、発音強化、発表を中心とした授業を行う。5 限目以降は韓国の文化・社会事情に関する学習を取り入れた授業を行う。聞き取り・作文・読解の総合試験を実施する。</p>
<p>④ 毎回の授業の概要</p>	<p>&lt;受講者ガイダンス&gt; 2018年11月14日(水)5限,6限</p> <p>&lt;事前講義:計5回&gt; 2018年12月5日(水)5限 第1回事前授業 2018年12月12日(水)5限 第2回事前授業 2018年12月19日(水)5限 第3回事前授業 2019年1月9日(水)5限 第4回事前授業 2019年1月23日(水)5限 出発前テスト</p> <p>&lt;危機管理ガイダンス&gt; 2019年1月23日(水)5限,6限</p> <p>事前授業では韓国での研修に必要な実用現地会話や文法事項、語彙、慣用表現の学習における補足を行う。また、「研修日誌」や特殊講義における「感想文」の書き方につ</p>

	<p>いて指導を行う。学生交流会の冒頭で行うプレゼンテーションをグループで企画し、最後の事前学習で予行演習と学生及び教員によるフィードバックを実施する。その他、現地で必要な注意事項についての指導も行う。</p> <p><b>&lt;事前講義の内容&gt;</b></p> <p>第一回：プログラムの概要紹介  プレゼンテーションのグループ分け  プレゼンテーションの内容についてのグループ討論  実用現地会話</p> <p>第二回：プレゼンテーションの内容についてのグループ討論  「研修日誌」の書き方  実用現地会話</p> <p>第三回：特殊講義「感想文」の書き方  交流会テーマについてのグループ討論  実用現地会話</p> <p>第四回：プレゼンテーション予備演習  韓国語での研修における注意点</p> <p>第五回：出発前テスト</p> <p><b>&lt;&lt;事後授業：計1回&gt;&gt;</b>  <b>3月22日(金)3限, 4限</b>  プログラム終了後、「研修日誌」に基づいたミニ・プレゼンテーションを行う。  「研修日誌」と「感想文」、プレゼンテーションに基づいた「振り返り」を行う。</p>
<p><b>⑤ 成績評価方法</b></p>	<p>APU での事前授業・事後授業および高麗大学での成績の合算によって評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ APU での事前授業と事後授業/pre-departure lectures (20%)</li> <li>■ 高麗大学での試験/paper test (50%)</li> <li>■ 高麗大学での出席/participation (20%)</li> <li>■ 高麗大学での宿題・課題物、その他のアクティビティ/activities and tasks (10%)</li> </ul> <p>一. 高麗大学での出席率が 80%未満の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>一. 授業開始から 15 分以上が経過した場合は遅刻とみなされ、遅刻 3 回で、欠席 1 回とみなされる。</p> <p>一. 会話・聞き取り・読解・作文の各成績が 50 点以上、4 つの項目の合算成績が平均 70 点以上なければならない。</p>

<p>⑥ 学生への 要望事項</p>	<p>参加者の学生は事前授業、現地研修、事後授業の全てに積極的に取り組まなくてはなりません。また、派遣校での授業においては欠席・遅刻しない、与えられた課題を誠実にこなす、真摯な態度で授業に臨むことが求められます。また、授業外のアクティビティにおいても積極性を発揮し、現地の学生や先生方との間で有意義な「学びあい」が起こるように努めてください。なお、プログラム中において学生の皆さんに許されていない行動をとってはけません。健康・安否上のトラブルが発生した場合は、担当の教職員に報告し、指示に従うよう心掛けてください。</p>
<p>⑦ テキスト</p>	<p>主教材：高麗大学韓国語センター 『スルスル韓国語1』、『スルスル韓国語2』、『スルスル韓国語3』 副教材：『スルスル韓国語1 workbook』、『スルスル韓国語2 workbook』、『スルスル韓国語3 workbook』、『ことばの民族誌(研究日誌)』</p>
<p>⑧ 参考図書</p>	<p>Korean Society 韓国社会を読む(曹美庚他／朝日出版社) Korean Culture 韓国文化を読む(曹美庚他／朝日出版社)</p>
<p>⑨ 備考</p>	<p>&lt;アクティビティ一覧&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 学生交流会</li> <li>▪ 特殊講義(テーマ:外国語学習と異文化理解)</li> <li>▪ 文化体験(韓国料理教室、チムジルバン体験、伝統工芸体験、伝統公演観覧)</li> <li>▪ 見学(民俗村、平和ヌリ公園、南大門市場、国立ハングル博物館)</li> </ul> <p>* アクティビティの内容は天候の他、諸事情によって変更になる場合があります。</p>
<p>⑩ 担当教員 電話番号</p>	<p>JUNG JONGHEE(チョン・ジョンヒ) 内線4692</p>
<p>⑪ 担当教員 Email アドレス</p>	<p>担当教員: JUNG Jonghee(チョン ジョンヒ) Email : jungjh@apu.ac.jp</p>
<p>⑫ 関連ページ</p>	<p>高麗大学韓国語センター: <a href="http://klcc.korea.ac.kr/">http://klcc.korea.ac.kr/</a> 駐大韓民国日本国大使館: <a href="http://www.kr.emb-japan.go.jp/">http://www.kr.emb-japan.go.jp/</a> APU「海外留学」ページ: <a href="http://www.apu.ac.jp/home/exchange/">http://www.apu.ac.jp/home/exchange/</a></p>